

能登半島地震の 現地視察について

2024年10月29日



- **目的** : 能登半島地震の被災地を直接見て、現地の被災された方より、体験談を聞き、今後の減災活動に活かす。
- **日程** : 2024年9月18日 (水)
- **訪問先** : 石川県輪島市・七尾市 (和倉温泉)
- **参加者** : 産業基盤強化推進部 伊勢木部長、竹前
- **内容** :
 - ① **輪島市**
輪島商工会議所 : 総務課 高平課長からの聞き取り
～ 輪島市内の被災地の視察 ～
 - ② **七尾市・和倉温泉**
多田屋 : 多田健太郎 社長からの聞き取り
～ 多田屋館内の被災状況の説明
および 和倉温泉復興について ～

① 輪 島 市

輪島市 中心街 地図

* 能登半島の北西部に
位置し市中心部から
石川県庁までは、
約120kmの距離



* 面積は、名古屋市の約1.3倍 (326.45km²)
人口は、約115分の1 (約233万人)

- ① 輪島塗会館（2F：商工会議所の臨時事務所）
商工会議所が入居していた建物は、入れない（継続利用不可）となり、
↑ 商工会議所は、道の駅 輪島 の場所にあった。
役所と調整の上、約2週間でこの建物の入居した（職員5名程度在中）。

- ② 五島屋ビル
2007年の能登半島地震後、追加の杭打ちをしたとのことだったが・・・。



③ ルートイン輪島

本館：120室（写真手前）が傾き、改修工事（来年の見込み）が終わるまで、
利用できない。

東館：100室（写真奥側）は、営業中。

* ルートイン輪島に関する記事：<https://corecolor.jp/11135>



④ 地盤の隆起（袖ヶ浜海水浴場）



○ 輪島朝市の火災について

津波避難で（消火する）人がいなかった。道路状況が悪く（橋の段差等）、消防車両が通行できなかった。消火する際、当てにしていた、河原田川の水が干上がっていた。これらの状況より、あれほど大きな被害となってしまった。

○ 輪島商工会議所の経験・状況

- ・全く情報が入ってこない。発災直後は、ライフラインが全滅状態。ドコモが少々つながった程度であった。
- ・事務所が利用できなくなったため、仮事務所でクラウドバンキングと会員データベースを利用して、業務を実施。
→ 会員 約1,000件の内、いまだに100件程度と連絡が取れていない。

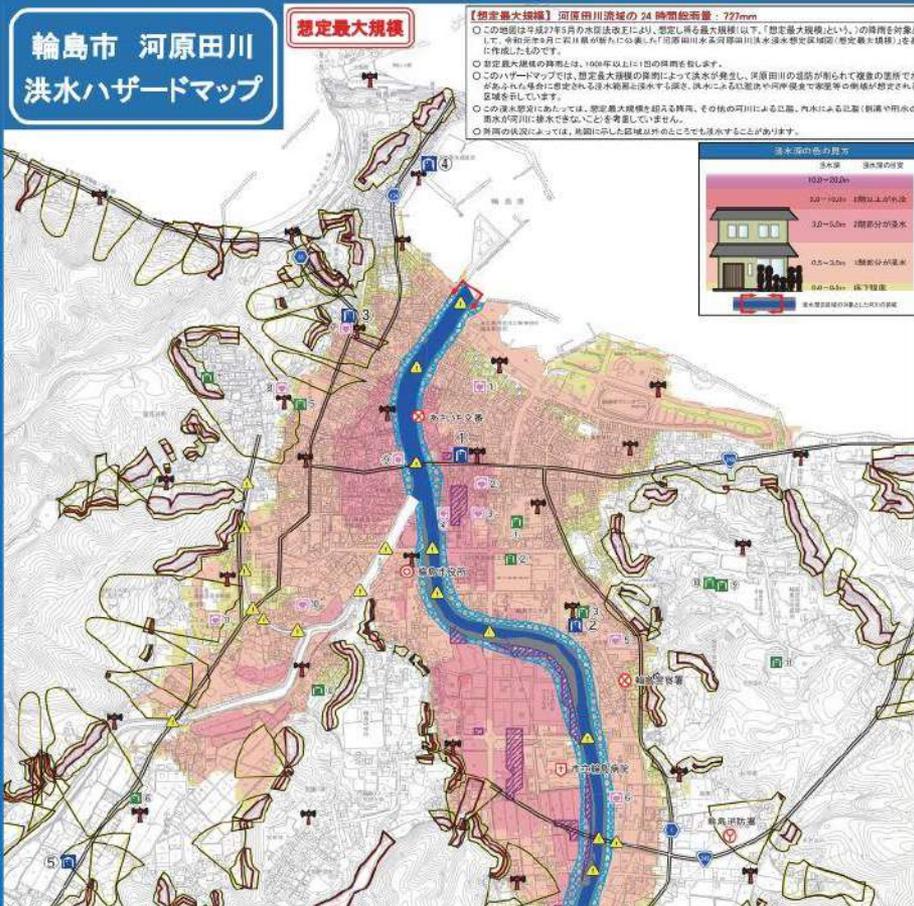
【教訓・学び】

- ・**データのクラウド化**（仮事務所でも業務ができた）
- ・**会員データの収集の仕方**（**携帯電話やメールアドレスの収集**の必要性）
→ 住所や固定電話だと地点でしか連絡が取れないため、避難所や広域避難等をした場合にも連絡が取れる情報を収集する必要がある。

(参考) 輪島では、9月22日午前8時10分までの**24時間で412ミリ**の降水量を観測。

* 1,000年に1度の降雨を想定 (727ミリ)

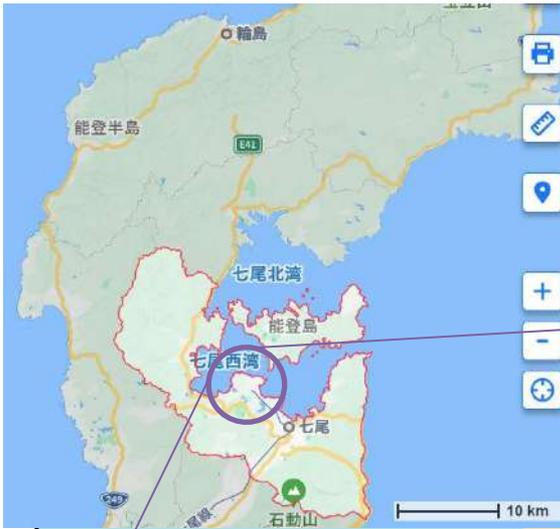
* 50~100年に1度の降雨を想定 (213ミリ) 計画規模



② 七尾市・和倉温泉

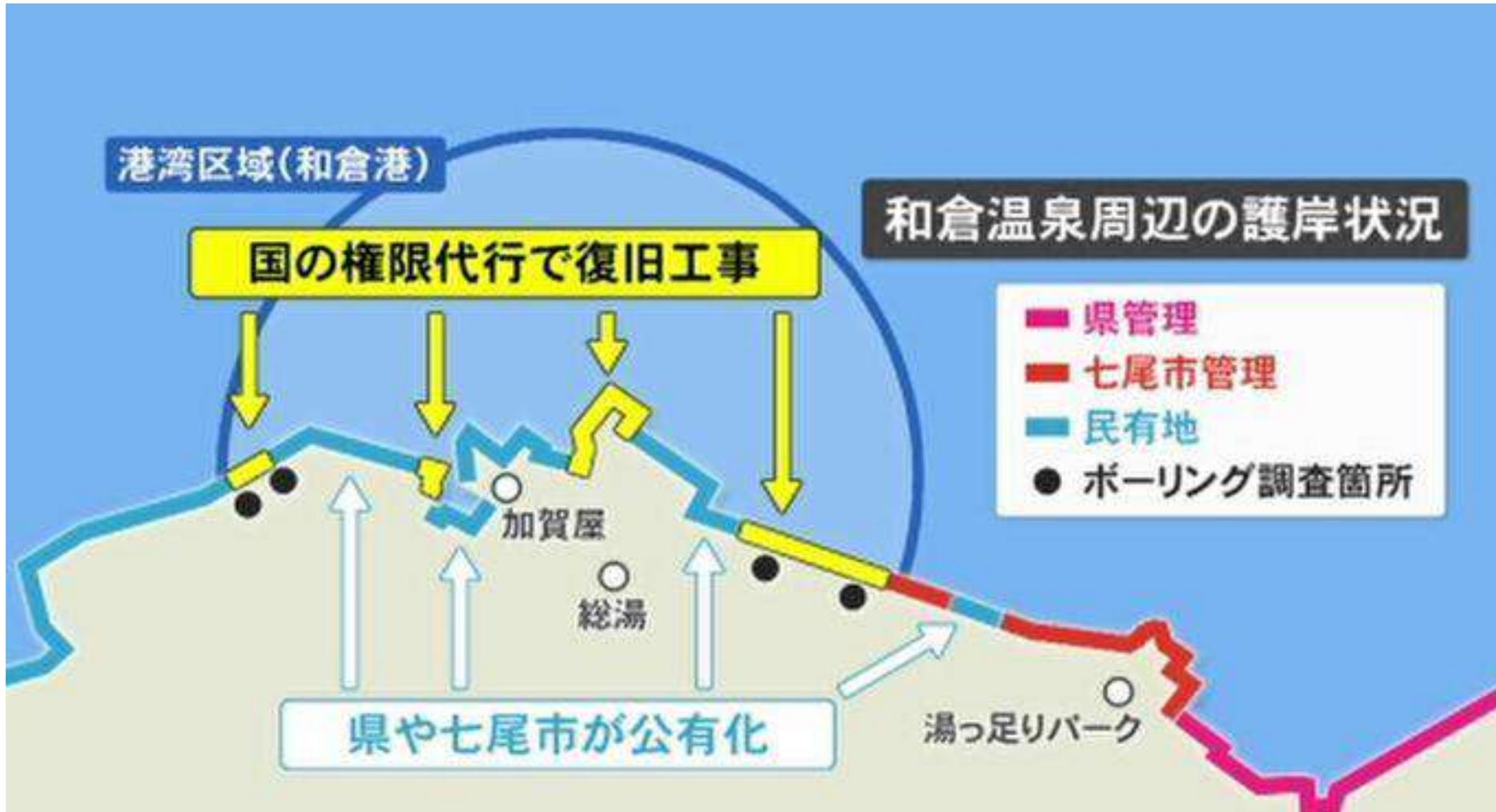
和倉温泉
中心街
地図

2024年1月1日の能登半島地震発生時点
では宿泊施設22軒（和倉温泉旅館協同
組合加盟は21軒）と総湯などがある。



●...営業再開宿。「のと楽」11月 本格再開。
震災後、海沿いの旅館で初

・和倉温泉では、護岸崩落の影響で建物の改修が遅れている。



① 加賀屋

護岸が下がり、壁にもひび割れ



② 渡月橋

地割れ、橋のつなぎ目もズレていて危険



③ のと楽 ⇒

11月より本格再開。耐震補強をしていた。

* 地震で本館の建物が壊れ、客室や受付カウンターなどが被害を受け、3月末まで断水も続いたが、客室や浴場の工事完了にめどが立ったことから震災前の営業体制に戻す。



④ 寿苑

建物が割れてしまっている
(赤丸○部分)

* のと楽の直ぐ裏 (海側) に立地

和倉温泉 多田屋 [和倉の夕日に染まる宿「多田屋」【公式】 \(tadaya.net\)](http://tadaya.net)

1885年創業（135年目） 1973年に 現在の場所へ移転

1階－5階建て 部屋数：60室 従業員数：65名



★ 多田屋 館内① (外観は、それほど地震の影響は見られなかったが…)



↑ トイレの中の床が隆起、段ズレ

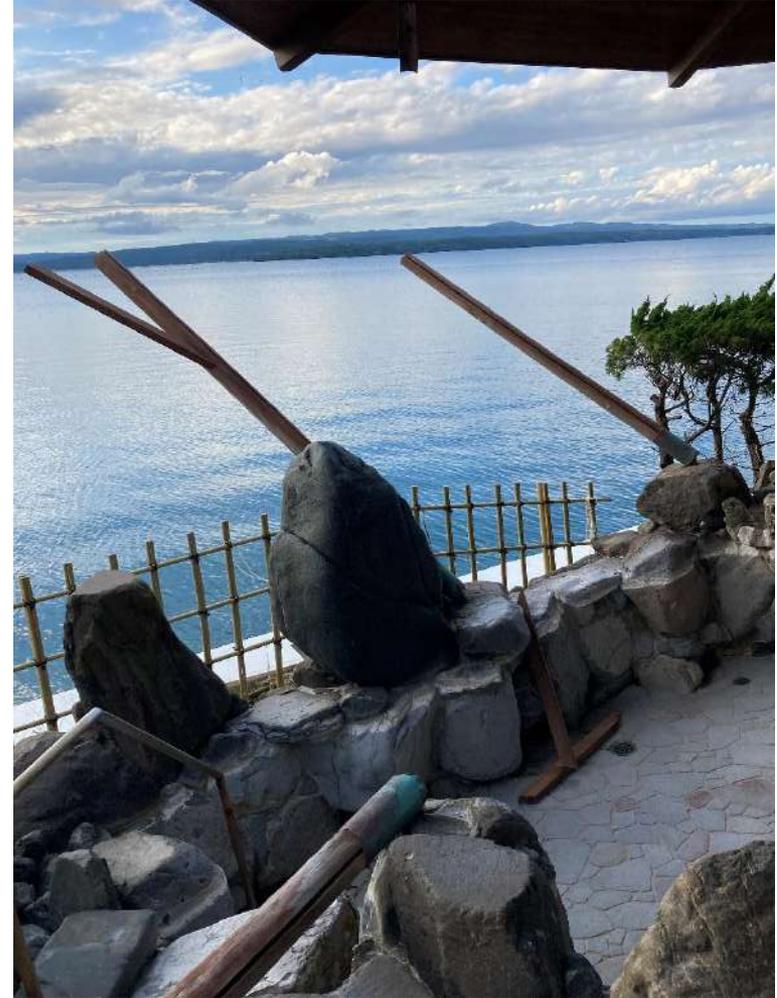
建物の壁が剥がれ、空が… →



★ 多田屋 館内②



大浴場の外が、地盤沈下



露天風呂の屋根を支える柱が崩壊

多田社長の 震災経験談

- ・地震発生時、**建物がこんなに揺れるのかと思うほど揺れた。**
- ・幸い、館内ではケガ人等はおらず、避難所に避難することに。
 - * 避難所のカギが開いておらず、一旦、宿に引き返す。
 - * 避難所のキャパは、390人程度だったが、約2,000人が集まってしまった。
 - 災害時、旅館を避難所として利用する当てだったが、被災してしまい利用できない **[想定外]**
- ・宿から避難所に物資を持っていくも、避難所で回収されてしまい、避難した宿泊客に渡すことができなかった。
 - * 支援物資と同様、避難所の管理下にて、お年寄り、子供から配布されることになった。
- ・**宿泊客は、避難所で1泊。**翌日(1/2)、金沢までのルート（通れる道）があることがわかり、バスで宿泊客を金沢に送り届けた。最後の宿泊客も1/3には、親族が迎えに来た。
- ・建物は、バブル期以降、増築を繰り返しており、旧耐震の建物に新しく立てる（修繕する）ことができないため、**建物の大部分は取り壊す**ことになるとのこと。



代表取締役社長 多田 健太郎

多田社長の今

- ・多田屋は、建物の一部を残し、取り壊し建て直す。
2027年リニューアルオープンを目指しているが、昨今の人件費・資機材の高騰に伴い、見積もり等中々、思うように進んでいない。
- ・「**和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会**」の代表に就任し、多田屋の再建のみならず、和倉温泉エリア復興プランの作成にも携わっている。
- *「**和倉温泉**」**創造的復興ビジョン** は、以下参照。

[「和倉温泉」創造的復興ビジョン | 和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会 \(wakura.org\)](#)

【多田社長にお会いして】

- ・たった**1分**少しの揺れで、**今までの日常が無くなってしまった**中、下を向かず、**前向きな多田社長の姿**に心打たれた。まさに、**被災地を自分の目で見て、被災者の声を自分の耳で聞き『自分ごと』として考える重要性を再確認**した。多田屋は、とてもステキな旅館であり、取り壊すのはとても残念に思うが、リニューアルされた際は、必ず訪れたいと思った。

和倉温泉再生の目標像（コンセプト）

能登の里山里海を
“めぐるちから”に。

和倉温泉

